Ｒ４　２学期　始業式

９月１日（水）

みなさん、おはようございます。今年の夏休みは、「コロナ」がまだ心配される中でしたが、「３年ぶりに、行動制限のない夏休み」でした。みなさんは、それぞれどのような夏休みを過ごしたでしょうか。充実した夏休みを過ごすことはできましたか？

今日から、２学期が始まります。２学期は、毎日の授業と併せて、運動会や音楽会、６年生の修学旅行や５年生の大貫海浜学園など、学校行事や校外学習などがたくさん行われます。２学期は、色々なことがあるので、みなさんがたくさん活躍したり、成長したりすることができると思います。

そのような２学期の始まりにあたって、みなさんに問題を出します。

さて、〇〇には、何という言葉が入るでしょうか？（漢字で２文字、ひらがなで４文字）

①『〇〇と書いて、成長と読め！』

②『〇〇図鑑』（本のタイトル）

③『〇〇は　成功のもと』

①は、プロ野球の有名な監督「野村監督」がよく選手たちに言っていた言葉だそうです。②は、この本のタイトルです。③は、有名な言葉ですね。

さて、みなさんは、この『失敗』という言葉を聞くと、どのような気持ちになりますか？多分、「いやな気持ち」「楽しくない」「落ち込んでしまう」・・・などでしょうか。そうですよね。人間、誰でも「失敗したくない」と思うのは正直な気持ちだと思います。先生もそうです。

でも、はたして『失敗』って、そんなに悪いことなのでしょうか。よくよく考えると、『失敗』したからこそ学ぶことができた　ということはたくさんあるのではないでしょうか。

特に、みなさんのような子供の間に、色々なことに積極的に挑戦をして、そして『失敗』もたくさんすると、どうでしょう。『失敗』は『大きな成長』となってかえってくるのではないでしょうか。

逆に、『失敗』することをこわがって何もしないでいると、どうなってしまうでしょうか。せっかくの成長するチャンスを逃してしまっては、もったいないですね。

この本にものっているのですが、発明王と言われた「エジソン」は、こんなことを言っています。

「わたしは今までに一度も失敗をしたことがない。電球が光らないという発見を、今までに２万回したのだ。それは失敗じゃなくて、その方法ではうまくいかないことが分かったのだから、成功なんだよ！」

「失敗」を「失敗」とは思わず、成功するために必要だったんだ！と、エジソンは考えたのです。

まさに、この本に書かれているように、「すごい人ほどダメだった！」＝「すごい人は、たくさんの失敗を乗り越えている！」と言えると思います。

どう乗り越えたかというと・・・まずは失敗したことを人のせいにしたりしない、そして、次はどうしたらいいかなと考えて、何度でも挑戦をする、また、時には誰かに助けてもらったりしながら、失敗を乗り越えているのです。

今日から始まる２学期、『失敗』は『成長するチャンス』だ！と思って、授業や行事等で、色々なことに、どんどんチャレンジして、たくさん成長する、そんな２学期にしてほしいと思います。

以上でお話を終わります。